

施策マネジメントシート ～令和4年度の振り返りから令和5年度の取組へ～

①計画⇒実施 (Plan⇒Do)

(5月中旬に記入)

長期振興計画 の位置づけ	まちづくり分野	ひと分野	担当課	教委総務課・学校教育課			
	政策分野	子育て・教育	課長名	吉田孝一・山崎省一			
	施策	15 学校教育の充実		重点施策の該当	R4	-	R5
施策の目的	対象	児童、生徒、保護者、教職員	意図	これからの社会を担い、自らの未来をたくましく切り拓く「ひとりだち」の力を備えた児童生徒を育成する			

施策の目標指標

目標指標(単位)	指標の推移(下段の()書きは当初見込み値)					
	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標
鹿児島学習定着度調査における「基礎・基本」分野の通過率が80%を超えた教科数(小学校全40教科)	22	32	33 (40)	(40)	(40)	(40)
鹿児島学習定着度調査における「基礎・基本」分野の通過率が70%を超えた教科数(中学校全10教科)	9	9	7 (10)	(10)	(10)	(10)
不登校(年間30日以上欠席)の小・中学校児童・生徒数の全体における割合(%)	1.1	2.5	3.6 (0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
体力・運動能力調査(小5・中2,男女別全32種目)で県平均を上回った種目数	26	27	30 (32)	(32)	(32)	(32)

市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

令和3年度実績		令和4年度実績		令和5年度実績		令和6年度実績		令和7年度実績	
重要度(%)	満足度(%)								
84.1	32.8	86.1	33.4						
重要度DI	満足度DI								
82.6	15.7	84.4	15.5						

施策推進のための取組の成果を測る指標

基本事業名	関連戦略No.	成果指標(単位)	指標の推移(下段の()書きは当初見込み値)					
			2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度目標	6年度目標	7年度目標
自ら学び自立する力をはぐくむ教育の推進	11-27 11-28	鹿児島学習定着度調査における「基礎・基本」分野の通過率が80%を超えた教科数(小学校全40教科)	22	32	33 (40)	(40)	(40)	(40)
自ら学び自立する力をはぐくむ教育の推進	12-31	鹿児島学習定着度調査における「基礎・基本」分野の通過率が70%を超えた教科数(中学校全10教科)	9	9	7 (10)	(10)	(10)	(10)
規範意識を養い、豊かな心をはぐくむ教育の推進	11-27 11-28	不登校(年間30日以上欠席)の小・中学校児童・生徒数の全体における割合(%)	1.1	2.50	3.6 (0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
健やかな体をはぐくむ教育の推進		体力・運動能力調査(小5・中2,男女別全32種目)で県平均を上回った種目数	26	27	30 (32)	(32)	(32)	(32)
健やかな体をはぐくむ教育の推進	11-27 11-28	小学生DMF指数(過去にむし歯になったことがある数値)	1.7	1.3	1.6 (1.0)	(1.0)	(1.0)	(1.0)
健やかな体をはぐくむ教育の推進		中学生DMF指数(過去にむし歯になったことがある数値)	1.6	2.2	1.6 (1.2)	(1.2)	(1.2)	(1.2)
教育環境の整備・充実	11-27 11-29	各学校からの修繕要望に対し、修繕を実施できた割合(%)	46.1	41	79.8 (47.0)	(48.0)	(49.0)	(50.0)
教育環境の整備・充実	12-31	奨学資金返還免除制度の新規猶予申請する者の数(人)	0	3	1 (2)	(2)	(2)	(2)

施策マネジメントシート ～令和4年度の振り返りから令和5年度の取組へ～

②-1 振り返り(Check)

施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応		
[学校教育課] 基本事業No.51・52・53	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に基づいた学力の定着が求められる。 ・不登校の状態にある児童生徒へのよりきめ細やかな対応が求められる。 	
[教委総務課] 基本事業No.54	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の老朽化に対し改善が必要な施設が多数存在しており学校現場からも多数の改善要請が上がっている。同様に教職員住宅も老朽化が進むと同時に間取りも昔のままとなっており、入居する教職員も減少してきている。一方で馬毛島の事業により貸家が無くなったり、家賃の高騰により民間住宅の入居も難しい状況があるなど外的要因による弊害も発生している。令和4年度に策定した教職員住宅の改修計画に基づき、リフォーム等順次実施していく事としている。学校においては、特別教室等への空調設備の設置要請が上がってきている。 	
施策の成果(貢献度の高い事業等)と現状・課題		
	成果	現状・課題
[学校教育課] 基本事業No.51・52・53	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島学習定着度調査においては、学力の向上において着実に成果が得られている。 ・不登校の児童生徒に対する個別の実態を踏まえた組織的な関わりや関係機関との連携の充実が図られている。 ・体育・健康面にの指標については、継続した取組により確実に子供一人一人に力が付いてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善や個別指導を通して、知識・技能の習得や、それらを活用する力の定着を図り、自ら考え、表現する力を獲得させていく必要がある。複式学習指導法研修会、ICTの利活用に関する研修会などを通して、教職員の授業力アップを図る。 ・不登校の状態にある児童生徒の割合が増えた。子供の実態をよりの確に捉え、個に応じた対応に努める必要がある。スクールソーシャルワーカーの活用を通して、家庭との連携を進め、児童生徒を取り巻く環境の改善を図る。 ・体育・保健面の指標については、児童生徒の屋外での活動がコロナ禍以前に戻ってきていることも踏まえ、日常の体力づくりや、個に応じた体力・技能の向上を図る必要がある。 ・う歯治療に向けた保護者への啓発や、予防歯科への取組をさらに充実させていく。
[教委総務課] 基本事業No.54	<p>【施設整備等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の改修については、計画に基づくものや学校の要請に対して迅速に対応してきたところである。令和4年度工事実績は上西小火災報知機設置工事、安納小渡り廊下改修工事実施設計、安納小コンテナ室解体、プールろ過装改修工事(国上小・安納小)、プール塗裝修繕(榕城小・国上小・現和小)、榕城小PAS(気中負荷開閉器)改修工事、中でも県内の学校管理職が校庭の落木事故を受け、市内小中学校の伐採要請のあった高木についてすべて完了させた。 ・また、プールのろ過機及びプール槽の塗料改修を行った。 <p>【奨学金返還免除制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度に開始した若者定住促進に向けた奨学金免除制度が、6年を経過し令和2年度末に3人、令和3年度末0人、令和4年度末5人計8人、現在猶予申請者は6名となっており、制度が少しずつではあるが定着がしてきている。 	<p>【施設整備等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風14号において、ほとんどの体育館で雨漏りが発生。そのことにより床面が劣化に加え漏水でさらに状態が悪化し、改善が必要となっている。また、水銀灯の生産中止により交換が出ない状況で、電灯のLED化も急がれている。また、中学校グラウンドでは、石ころやガラス片などが多く露出し、安全性を確保するための大規模な改修が必要とされている。 ・教職員住宅についても、建物でだけではなく間取りや、設備が古くなっており、年々改修規模が大きくなり、改修に係る予算配分が難しくなっている状況がある。 <p>【奨学金返還免除制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・猶予申請者も微増しつつあるが、制度の有用性を更に広めるため周知活動も強化していく必要がある。
今後の方向性	今後の方向性の根拠等(他施策との連携、総合戦略との関連、環境変化等を踏まえ記入)	
拡大・充実	[学校教育課] 基本事業No.51・52・53	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の研修機会の充実を図り、特に複式学習指導や個別指導にかかる指導力の向上を図る。 ・スクールソーシャルワーカーの活用を通して、児童生徒の不登校の状態の改善に努める。 ・う歯保有率の低減、治療率の向上に努める。
拡大・充実	[教委総務課] 基本事業No.54	<ul style="list-style-type: none"> ・学校等施設及び教職員住宅の改修については、経年劣化に伴い規模が年々大きくなってきている。計画的に改修は行っているが、長寿命化対策を取らない以上応急的な改修の繰り返しが続くものと考えられ、予算はさらに増加する傾向が予測される。

②-2 政策部会による振り返り(Check)

(6月中旬に記入)

今後の方向性	政策部会で出された施策に対する意見等(将来像の実現に向けた課題や優先度、市民との協働のあり方など)	
拡大・充実	[教育振興部会] 施策担当課の記載する方向性のとおり。	